

# WAKAGE no ITARI

等「心」大の信仰を分かち合おう、いま!

## 特集 未来 ～10年後の自分～



＜山口教会 アジアに平和を祈る大聖年の鐘＞

### ＜もくじ＞

★今回の特集★

P. 2 特集：未来～10年後の自分～

★青年活動★

P. 13 NWM in 東京の報告

★東日本大震災関連★

P. 5 東日本大震災から一年

★脱力系。★

P. 14 調べてみたのですが。Vol.7

★毎日のワカゲ★

P. 6 ワカゲなう

P. 8 平日企画報告

P. 11 イベント報告

★お知らせ★

P. 15 ワカゲからのお知らせ

東京教区からのお知らせ

# 特集

# 未来～10年後の自分～



ワカゲのイタリ第54号の特集は「未来～10年後の自分～」です。

学生、青年の私たちは度々、自分の人生をどのように歩んで行くかという選択の岐路に立たされます。そして、私たちは希望を持って、未来への道を選択し歩んで行きます。皆さんは、自分の未来をどのように考え、人生を歩んでいますか??将来を選択するとき、何を基準にしていますか??そして何に悩むでしょうか…??4月から新生活を迎える方も多いかと思います。その前にちょっとだけ自分の人生の歩み方見直してみませんか??

## 青年の皆にアンケート☆三

### Q1、自分にとって未来とは??

- ・未来という考えは特にない。今が楽しく、いつまでも続いていくもの。
- ・確実な地位を手に入れること。
- ・明るいものであって欲しいなあという願い。

### Q2、未来に希望を持つことが出来る理由、歩む原動力は何ですか??

- ・生きていてやりたいことをやっていると楽しさがあると経験的に知っているから。
- ・プラスな考え方が良いものを引き寄せるということを直観的に確信している。
- ・聖書の言葉と信仰に支えられているから。

### Q3、人生設計は立てるタイプですか??

#### Yes

- ・社会人として生活するためには計画と目標が大切だと感じるから。

#### No

- ・そんなに遠くまでは考えない。今や現実の積み重ねが未来を創っていくものと思うから。
- ・やりたいことリストが出来ているだけ。何歳に何をするかは決めていない。出来る順番に。
- ・目先の現実にはいっぱい遠くまで考えられない。神様が上手く運んでくれると甘えています。(笑)
- ・理想はあるけど、計画や目標を立ててそれに向かって努力しているということはない。

### Q4、10年後の自分を思い描けますか??

#### Yes

- ・働きつつ、真新しいことをしたい。人のしないことをしている。
- ・社畜のように働く(笑)出世するために頑張りたい。

#### No

- ・理想としては3児の母。でも現実味が無いのでNoかな。

### Q5、人生の歩み方は??

- ・やりたいと基準にその場その場で選択し生きていく。
- ・勘です。導きを信じて歩むという感じです。
- ・行き当たりばったりだったりします。憧れにふりまわされている感じです。
- ・自分の人生をどこか他人事に思いながら、適当に気分で選んでいる。

# 高木神父様にインタビュー♪



高木神父様（高幡教会主任）に突撃インタビューをさせて頂きました。「20代、10年後の未来をどのようにとらえ生きていましたか??」「今どのように未来について考え、向き合っていますか??」

こんな二つの質問にお答えいただきました

(\*´▽`)ノ

## そもそも…自分にとっての未来(将来)

うーん…10年後の未来…なんだろうね、実は長いスパンで将来を考えられていませんので…（笑）日々の積み重ねというところちょっとかっこ良すぎるけど、長い感じで未来に向かって歩んでいる感じはないです。特に今は「司祭として生きる」という大枠が与えられているので、その時その時にやらなきゃいけないこと、必要とされていることをやっているという感じです。確かに方向性を考えなきゃいけない時もあるけれど、いつも考えているわけではないし、やっぱり方向性を考えないといけないと感じた時に考えていますね。司祭という生き方、大きな道があることは、生き方を模索する学生との大きな違いと言えると思います。

## 20代の未来観、生き方を振り返ると…

20代といっても長いですよ。その中で、私の20代は4つ「大学生(22歳まで)、第一次神学生(22~24歳)、上智大学神学部・院生時代(24~29歳)、第二次神学生時代(29歳~)」に分けられますね。やっぱり20代は将来を考えつつ、右往左往していた時期といってもいいかもしれません。しかし、将来をずっと考えていた訳ではなく、その時その時で動いちゃった感じが強いです（笑）

28、29歳になって年齢も年齢ですし(笑)、卒業も迫ってきたので将来を考えないといけないって気持ちになりました。神学部入学当初は色々な可能性がありましたが、段々と宗教科の教員か神学生という二択になって迷っていました。

丁度その時期にカトリックの信仰冊子「ポコラレ」のメンバーのカタルーニャ人と出会い、関係施設に行ってみないかと誘われました。そして、フィリピンやフィレンツェの施設に行ったりしつつ、自分の歩むべき道である将来、使命を考えましたね。

一度神学校を辞めた理由は、自分には司祭職は向いていないと感じたからでした。でも、このような色々な人との出会いや環境の中で出した結論は「何でも良いのだ」というものだったんですね(笑) そうそれはつまり、向き不向きや、この選びにはこんな苦労があるとか無いとかということは関係なく問題でもないということです。不向きなりに、生きるからこそ、与えられる使命もある訳ですし。

そもそも、人生の選択に具体的な当たり外れがあるわけではなくて、どのような選びも神様が生かして下さるといって、とても当たり前なことによろしく思い至ったのです。大切なことは今や人生に対する誠実さであるということです。そこで、私はずっと気になっている司祭職を考え選びました。

## 今を誠実に生き、大切にすること

神学生になってからも、自分の召命を見分ける期間でもあるけれど、20代に考えていたことなので進路に迷いがなかった。神学校生活のその時その時を頑張るといった感じでした。振り返ってみると、その瞬間の学生生活を頑張るのは初めてだったのかもしれない。小学校や中学高校は受験に向かって学生生活を歩んでいる感じで、将来の為に何かを我慢していました。更に大学に入ってから「自分は神学校に入るのだから…」とまた将来の為に自分に規制をかけていました。「今は未来の為にあるもの」という感覚が抜けきれず、今を大切に出来ていなかったんですね。

しかし、召命の道を選んだ後の神学校時代は今を誠実に生きれば将来の為にになっているという感覚になっていました。そう、そこには将来の為に我慢するという感覚がない。今だけ生きていけば良い、人生に無駄が無いという感覚を得ることが出来ました。(でもそれが見る人によっては司祭になるためなのに何やってるんだなんて見えたかも…笑。) 余談ですが、ふと中学高校をこのように過ごせれば良かったのかななんて思ったりしたけれど、でもそしたら当然受験に受からないし、難しいところでもありますね…(笑)

今は短いスパンで考えるからこそ、有意義に過ごしている面が大きいのです。「将来こうなるんだ」という事からは自由になりました。読みたい本を読み、与えられていることを行うと自分のものになり、自分なりの味が出てくるっていう感じです。

## 青年の皆さんへ

これは誰かから聞いた言葉ですが、未来や召命というのは木のようなものではないでしょうか。太い一つの樹から枝が広がっていて、それらは更に枝分かれています。その枝分かれの枝の全てが召命で、私たちがどの枝を選ぼうとも神様が導いて実りを与えて下さるんです。これはひとつの信仰のかたちだと思えます。未来を向き不向きではなく、自分で積極的に選ぶこと、また「将来の為に今」というだけでなく「誠実に今を生きる」という事も考えてみるのも良いと思えます。まあ若いうちは沢山考えるよねえ(笑)

## 思い描く10年後

えーと、ですね、30代後半、年をとっていくことが嫌だったんです。何故、年をとることが嫌かといえば、当然体力的にも能力的にも限界があったり衰えてくるからです。30代まで目に見える進化をしていないということが焦りだった。でも、最近は若い人の能力を見ても焦りや羨ましさ、競争心があまりなくなってきたなあ。

それは、惰性感が強いとも言えるんだけど、自分のペース(ゆっくり)ということを受け入れられるようになったということでもあるんです。34歳の時にフィリピンに行ったが、その時にこのペースで英語をやっていたら40代で英語ペラペラじゃないと言われました。今の自分は決して英語ペラペラではありません。でも、出来ない自分を受け入れながら、今でも僕の10年後の目標は英語ペラペラです(笑)(もちろんその焦りが向上心になることもありますし、否定しているわけじゃないです。)

一方、『早くこのことを身に着けないと、収入に関わる』などの切迫感の無い生活が無い分、良いのか悪いのか微妙なところでもあります。そしてこのような生活をさせてもらっているからこそ重ねる年数分、自分は深まっているのかっていう不安もないわけではないんです。惰性だけで過ごしてはいけないなあと思うところです。

先ほど自分を受け入れ始めていたと言いましたが、まだ自分は体力的に上り坂であるから、自分だけという境地には達していません。つまり、司祭として聖書だけで生きていくという境地ではない。40代の自分には目に見えて変わっていくという事が無いから、深めることが長いスパンでいうところの課題になっていくのかな。

## 取材を終えて…

未来に目標を持つ生き方、やりたいことにひたすら打ち込む生き方など、人によって人生の歩み方は本当にさまざまであることを感じました。しかし、いずれにしろ大切なのは神父様のお話にもありましたが、現在に対する誠実性なのかもしれません。また、未来への希望を持つことが出来るのは信仰の支えが大きいように感じます。

皆さんはどのようにお考えでしょうか…??

# ▶東日本大震災から一年

## ～捧げられた日本中の祈り～

### 福島県南相馬市

カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）では、東日本大震災から1年に当たる3月11日に、地震や津波、原発事故の被害に遭った福島県南相馬市の海岸で追悼・被災地復興の祈りをささげる「3・11 南相馬一日巡礼」を開催しました。CTVCのセンター長である幸田和生司教、梅津明生神父司式のもと追悼と被災地復興祈願ミサがささげられました。



＜祈りを捧げる巡礼参加者＞

（カトリック新聞 4139号より転載）

### 山口県下関市

東日本大震災から1年。ワカゲの巡礼団は聖フランシスコ・ザビエル下関上陸記念碑を訪れた後、細江教会の祈りの集いに参加しました。14:46から鳴り響くアンジェラスの鐘。日本中が祈りのうちに包まれた気がします。震災を通しての気づき、共に生きるという喜び、忘れないで。



＜カトリック細江教会＞

＜祈りの集い＞



### 東京都千代田区

今年の3月11日はイグナチオ教会で朝のミサに預かりました。震災発生当時、僕は偶然この教会の近くにいましたが、シンボルである巨大な十字架が折れ、ぶら下がっていた姿をはっきりと覚えていますし、そのインパクトはやはり衝撃的なものがありました。現在は安全の為、その十字架は取り外されています。一年前にこの場所にあったはずのもの、十字架の失われた教会……。一年たったこの日、その意味をずっと考えていましたが、どうしても後ろ向きになりがちでした。

同じ日の夕方、とある神父さまと教会の青年活動について話していると、活動の在り方についてこんな問い掛けをされました。

「そこに十字架がありますか？」

神父さまは、活動への関わり方がイエス様の姿に倣ったものですか？といった意味の問い掛けをされたと思うのですが、その日ずっと考えていたことが一つ開けた気がしました。

去年の3月、物資不足など混乱の続く関東で、多くの方の支援と想いを受け、被災地に向かわせて頂きました。今、自分に出来る事は何かを精一杯考え、奔走された方々の姿は忘れられません。掲げられた十字架をただ見上げるのではなく、皆で背負った、本当の教会の姿だったのだと思います。一年が経ち、未だ被災地では苦しい状況の続くなか、私たちひとり一人がやるべき事を模索しきれているのだろうか……。

「そこに十字架がありますか？」掲げる十字架を失った教会は、そんな問い掛けを私たちにし続けている気がします。

シグニスジャパン  
広報誌 4月号より引用



＜震災以前の麹町教会十字架＞



非常にめまぐるしい一年でしたので、なかなかひとつをピックアップするのは難しいですが、あえてコレを。「エポペ」とは、かつて真生会館にも関わって下さっていた故ジョルジュ・ネラン神父様が32年前に建てられた歌舞伎町のバーのことです。東京の青年達は足を運ぶ機会があったと思います。僕個人としてもとてもお世話になりました。そのエポペが先年10月に閉店しました。薄暗い照明、全体が見渡せるカウンター、美味しいお酒、そしてお客さんの笑顔。それがしばらく見れないのかと思うと寂しくなります。切ない思い出ですね。 さっちゃん



ワカゲのアットホームなミサかなあ。思い出すたびにるんるんします。とても温かいです。楽器とか歌とか意向とか手作りで、ときどき、みんなが一つになっていることを感じると鳥肌が立ちます。

新しい仲間と出会ったり、いつもの仲間や自分との新たな出会いだったり、はじまりはいつもここかなあと。そんな中で、いのちをいただいています。自然と自分に染み込んでいて、自信がないときや孤独になって思い出すと勇気づけられます。

ゆーた



指導と同伴ってのをたくさん考えた年でした。感じたことがついたことを伝える時に、一緒に過ごしているから言うのか、『常識』っていう摩訶不思議なものから言うのか。そんなあたりですね。

そして、素朴な疑問を語らう時間。日常的な悩みとか考えてることを深める時間の大切さを実感です。等心大の分かち合い。それがワカゲの心ですねえ。

倉田



灰の水曜日！去年の灰の水曜日は、親友のまっそー（未信者）との大阪旅行の最中でした。宿泊先の近くに玉造教会があったので、一人で行こうと思っていましたが、当日の朝、彼女も一緒にミサに与ってくれました。なぜミサに与ってくれたのかと尋ねると、「なんか大切な日なんでしょう？じゃあ一緒に行かなきゃねえー」と返されました。まっそーと出会わせてくれた神さまにその日、めっちゃ感謝しましたね！神さま、ありがとう！

かおる



ごきげんよう!!2011年度も、もう終わり2012年度を迎えると思うと寂しい気持ちや新しい年度を迎える嬉しい気持ちやら…。今年度1番印象に残ったカトリック行事はクリスマスですね。大学のクリスマスミサの責任者であったから、ということもありますし、ワカゲのクリスマスパーティーに沢山の方がいらしてとても楽しかったからです。仲間と祝い分かち合える喜びを忘れずにいたいものです。

みほこ

# ▷ワカゲういる

## ～2012年度 新スタッフ紹介～



こんにちは:) 昨年度に引き続き、ワカゲスタッフをさせていただきます志田郁(しだかおる)です。好きなものは、ポケモン!

ピカチュウ可愛いですよね。こんな感じで基本、ゆるゆるです。今年度の目標は、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。全ての事について、感謝しなさい。」を実行すること。ワカゲのみんなといつも喜んで、みんなのために祈って、みんなに感謝できるようにしたいです。今年度もよろしくお願いいたします。 志田郁



はじめましてのかた、お久しぶりのかたおられると思います。2012年度学生センタースタッフをすることになりました、たけるです! よろしくお願ひ致します!

意気込みですか。。。そうですね、誰もがふらっと立ち寄れる、居心地がいい、そういう場をスタッフ、ゲスト、聖職者、皆で一緒に創りあげたいと思っています。当面の目標は笑顔溢れる“まどい”になることですね。久しく来てない方、まだ来たことないかた、上京されてだれかに会いたい方、ぜひぜひお待ちしております!

清水武尊



こんにちは。笑顔がステキなスタッフ1年生のしげきです。今年で上智大学神学部の4年生になります。ついこの間までワカゲにちょくちょく顔を出す程度のゲスト

だったのですが、ワカゲの雰囲気誘われて気付いたらスタッフになっていました。経験は浅いですが、ワカゲを訪れるみなさんと同様「若いからこそできる何か」に食い付き、精一杯働いていきたいと思ひます。短い間となりますが、よろしくお願いいたします! 山崎薫樹



はじめまして!今年からワカゲスタッフになります、上智大学神学部2年の小島さやかです!部活は少林寺拳法をやっています。バリバリの運動部ですよー!興味のある方ない方、お気軽に質問してください。今神学で一番興味があることは、倫理と霊性と宗教音楽と聖書についてと……ぜーんぶ好きです!これからどんどん学んでいきたいです!水曜日は倉田神父と、木曜日はかおるさんとワカゲを担当させていただきます。みなさんと一緒に、楽しくかつ成長できる場をつくるのが目標です!これからよろしくお願いいたします\(^o^)/ 小島さやか

小島さやか

WAKAGE に舞い戻って二年目になります。

去年に引き続いて、学生スタッフの中に交わりながら、みなさんと等「心」大の歩みを深めたいと思ひます。大切な「今」の一時を、豊かに過ごしていきましょう。人が独りているのはよくありませんから、WAKAGE においでくださいね。ここは神と人と出会い、愛と真理を見つめる交わりの場ですから。

顧問司祭 倉田厚



# ▶平日企画報告 ～後期 ver.～

## 月曜日 幸福論～ワカゲ編～

旧約聖書的  
プロポーズは…  
「俺のあばら骨  
になってくれ!？」  
笑



様々な人間関係を福音的観点から考えるこの企画。一番盛り上がったのはやっぱり恋愛でした（笑）創世記を読んでみると、「そうか、人から男と女が創られたのか!」「男と女は助け合うものなのか!」等々発見がありました。そんな中で倉田神父様の名言『世の中に、良い男も良い女もない。あるのは互いの相性、関係の良さだけだ。』つつい、人間関係を考えるとき、神様からのメッセージ忘れがちな私たち。聖書が私たちに何を語っているかを考えさせられました。

## 火曜日 シネマ・サグラダファミリア



この企画は家族をテーマにした映画を鑑賞し、分かち合いを行うものです。「お母さん」というテーマで、一緒に「東京タワー オカンとボクと時々オトン」を鑑賞した方からコメントをいただきました：)



「時々オトン」というタイトルが絶妙ですよ。物語のテーマがオカンとして流れ、読み解く鍵がオトンとして散りばめられている。周りを見渡せば、どこにでも転がっていきそうな上京物語のはずが、こんなにも感動を誘うのは、主人公のオカンとの関係が非常に丁寧に描かれているから。その感動の意味を教えてくださいるのが、夢破れた人生を背負うオトンの存在だと思えます。夢の集まる街、人の集まる街、東京。その数だけ僕たちは傷つけあって、夢を、人を、疑ってしまうけど、人が集まれば、その数だけの愛もあるはず。最後に東京タワーから見降ろしたものは、きっとそういうものなのでしょう。（人が集まる場所ワカゲ。互いの心に必ずある愛を、見つけていけるといいですね。）

杉野希都（河原町教会）

## 水曜日 倉田神父のLet'sカトリック講座



ゆるい感じながら、各回集まったメンバーの個性に合わせて、いろんな学びをしました。知っているつもりだったことを深めたり、目からウロコを落としたり。ちょいちょいテーマから外れて、素朴な疑問の分かち合いになったりもしました。知ることを通して、日々の生活の彩りが深まる。そんな知的企画これからも用意していきたいと思えます。

## 木曜日 ワカゲ Beautiful Days

自分の生活を文字にしてみると見えてくる  
ことが沢山あります。



ワカゲ Beautiful Days では、自分の生活を見直し、幸せのスパイスを探していました。「インターネットと自分」、「時間の使い方」、「自分にとっての生活の肉体的・精神的糧」などをテーマに考えていきました。

自分の生活を文字にしてみると発見がいっぱいありました。乱れがちな現代人の生活ですが、今しかない学生生活をより豊かなものにするために、また自立した社会人になるために、こうした見直しが必要なのかもしれません…。

## 金曜日 マジ金



2011 年度は「マジ金」なんと 5 周年記念でした。マジ金を愛してくださる皆様、ワカゲ魂を燃え上げてくださる福島神父様ありがとうございます。後期は「王たるキリストの祝日」を挟んで、前半が「秋」（季節）にまつわるテーマ、後半が「クリスマス」にまつわるテーマで分かち合いを行いました。

マジ金は「交わりの金曜日」。学校や近所の集まりとは違います。特別なシールドに包まれています。そんな中で隔たりなく分かち合い。分かち合いとは話を共有することだけではありません…ぜひ味わってください。また、ワカゲの素敵な先輩方もいらっしゃるので、心強いつながりが持てるチャンス。みなさんとても温かいですよ。

## ワカゲの日常



突然始まる恋愛講座(笑)

無茶な振りにもかかわらず、  
トムヤムクン&グリーンカレーを作ってくれたり…(笑)



企画が無いワカゲも、実はなかなか面白いものです。ワカゲは色々な人々が訪れます。カトリックの方はもちろんですが、プロテスタントの方、キリスト教に興味のある人、ワカゲの部屋を借りてミーティングをする外部団体の方々、ワカゲ OB・OG 等々。知り合いの知り合いが、友達だったり、誰かがフラッと現れて料理をふるまってくれたり、ワカゲでの出会いをきっかけにバンドが結成されたり…ワカゲの日常には出会いがあり、様々な可能性があります。今年度も、沢山の人の輪が繋がって広がった一年でした。皆さまとの出会いに心からの感謝です。

2011 年度ワカゲは『聞く・深める・祝う』の三本柱で活動してまいりました。『聞く』とは体験を通して学ぶこと、『深める』は学んだこと、知ったことを自分の中で深め、分かち合うことです、最後の『祝う』は全てに感謝し、神様にお捧げすること、祈ることです。皆様にとって、ワカゲ平日企画は『聞く・深める・祝う』体験となったのでしょうか…??

来年度も沢山の企画を用意しておりますのでお越しくださいませ♪

# 聖書喫茶～賛美の晩餐～

## 1月26日(木)

聖書喫茶は毎月神父様をお招きし、聖書深読、分かち合いなどをする企画です。

今回のテーマは『賛美の晩餐』の瞑想。  
イエズス会の植栗神父様をお招きしました。

最初に全員でマルコ福音書の主の晩餐を読んだ後、植栗神父様のガイドに従い、身体の力を抜いて、リラックスをしていきます。次に、植栗神父様のガイドに従いながら自分がイエス様をお招きして晩餐会を開く瞑想に移ります。

『皆さん、イエスに「今日の晩餐の準備をお願いします。」と頼まれたら、どこで晩餐会を開きますか??誰を招待しますか??』

神父様のガイドは続き、イエス様が食事の時に、①愛について、②平安についてお話をされるという場面へと移ってゆきます。パンを私たちに渡される時、ぶどう酒を渡される時、イエス様が私たちに語りかける場面もありました。賛美の晩餐の瞑想はキリストとの出会いの体験となりました。



瞑想の後の、分かち合いで瞑想について、特にイエス様の語られたことを分かち合いました。自分で選んだイエスを招いた場所や一緒に招待した友人から、自分が何を大切にしているかなどを振り返ることが出来たようです。また一人一人がイエスから様々なメッセージを受けとっていました。「これは、あなたに自由を与える杯です。」心がほっこりするような、安心するような、そんな言葉が胸にしみた聖書喫茶でした。



みんなで記念撮影  
植栗神父様、ありがとうございました!!

# ▶ イベント報告



## クリスマスパーティー 12月16日

ワカゲでは一足はやくイエスさまの御生誕を祝いました。ミサの後、1F第一会議室でパーティー開始。グループに分かれてケーキ作りをしたり、皆で輪になってプレゼント交換を行いました。みんな和気あいあいと交流を楽しみました。ちょっと遅くなってしまったかもしれませんが、あらためましてイエス様御生誕おめでとうございます！

優勝したワサビ入りケーキ!!



厳選なる審査を重ねた  
ケーキコンテスト!!



## ワカゲ成人式&新年会 1月14日

1月はちょっと遅ればせながらの成人式&新年会を行いました。3人の新成人を迎えることが出来ました。新成人の皆様、神様のより豊かな祝福がありますように…。

また新年会では、日本人常識クイズを行いました。皆さん、神社の正しい参拝方法ご存知ですか??童謡「浦島太郎」「金太郎」は2番まで歌えますか??(笑)なかなか難しかったようで、珍解答続出の新年会でした。今年一年賑やかで益々楽しい一年になりそうです(\*´ω`)♡



ケーキの正しい  
食べ方実演中w

### ～新成人の抱負～

このような集いに参加出来たこと嬉しく思います。成人することというのは、社会のコミュニティーに一人前として参加することだと思っています。日本では郷に入っては郷に従えという風習があるように感じますが、自分は自分らしさも忘れずに人とのかかわりを大切にしながら社会に貢献できる人間になりたいと思います。馬場洸(長崎教区)



# 山口・長崎巡礼 3月9~16日

春休み特別企画として、山口・長崎方面を巡礼をしました。巡礼のテーマを福音宣教とし、ザビエル&パリミッション&クリシタンについて学びました。夜行バスで山口に向かい、各駅列車で佐世保に向かうというハードスケジュールでしたが、沢山の方々のご協力とご支援をいただき、事故やけがもなく充実した巡礼を行うことが出来ました!! 1ページでは絶対書ききれない、思い出が出来ました♡感謝です。

## 出会い&交流

**山口教会** 10日の夜、柴田神父様に「アンパンマンと四旬節の過ごし方」をテーマに、震災について考え、分かち合いを行いました。自分を捧げるアンパンマンの姿から自分は何のために生きていて、自分に何ができるのか、いのちを考えた時間となりました。



**相浦教会(佐世保)** 11日夜、佐世保に集まった青年と共に食卓を囲みました。相浦教会の皆様が牡蠣や新鮮なお魚等々、御馳走を用意してくださいました!! 楽しいひと時をありがとうございました!!

## 山田教会&上神崎教会(生月&平戸)

山田教会の方々にも歓迎して頂きました。新鮮な魚介類、手作り料理の数々に心もお腹もいっぱいでした。平戸地区の青年の方々和二日間交流し、東京と長崎の信仰の違いにも触れることが出来ました。



## 歴史に学ぶ



**黒島** 黒島教会・カトリック共同墓地・信仰復活の地を訪れました。十字架が所狭しと並ぶ共同墓地に圧倒され、福音宣教に生きた信仰の先輩方の力を感しました。

**生月** 生月や平戸には、クリシタン弾圧時代に迫害に見舞われながらも信仰を伝承していた「かくれクリシタン」といわれる人々の歴史がありました。今も当時の習慣を続けていたり、キリスト教と日本の宗教が融合した信仰をもった地域があるそうです。こうした信仰の歴史に触れ「信仰に生きる」とは何か考えさせられました。



# ▷ 教区ニュース

## 第22回 ネットワークミーティング in 東京

### 「忘れないで、覚えているよ」

3月3日から4日にかけて、東京・国立オリンピック記念青少年センターにて「第22回 ネットワークミーティング in 東京」が開催されました。今回は開催地が東京ということもあり、去年から1年間かけて東京近隣の青年達が実行委員会スタッフとして一丸となって準備して開催当日を迎えました。オリンピックセンターの近くにある代々木公園を歩き回る『カトリンテーリング』、部屋に分かれて神様と向き合う『夕の祈り』、ルカによる福音書の「エマオの途上」の場面を想起しながらオリンピックセンター→ 真生会館 → カトリック関口教会を目指した「徒歩巡礼」、そして最後はみんなで心をひとつにしてミサを捧げました。



約 200 人の大集合!!忘れないで!!



### スタッフの声

この1年間スタッフの皆と作ってきたNWM in 東京、無事に終わりました。私は、プログラムと受付を担当しました。参加者の皆さんの申し込みが増えるたびに嬉しくて、何人になったのかをスタッフのみんなに伝えるのが一番の楽しみでした。

プログラムは、なかなか良いものが思いつかず、周りのスタッフにダメ出しされたり、長時間ミーティングした末ボツになったり、最初はどうなるか不安でいっぱいだったけれど、当日の参加者の皆さんが「すごく楽しかったよ!」「プログラムのおかげで班のみんなと仲良くなれた!」と言ってくれて、プログラム班としては、大成功でした(´▽`)ノ

この1年間は、あっという間でまだ終わってしまったことが信じられません。スタッフのみんなと一丸となってこのNWM in 東京を作り上げたこと、スタッフのみんなとすごく仲良くなれたこと、一生忘れないし、覚えているよ!

(富沢由佳里・清瀬教会)

ちょっと気になりました…

## 調べてみたのですが。



Vo.7 その謎はベールに隠されている！

ひよこ：このコーナーが始まって1年半かあ。

ねこ：そうだねー！でも、なんか中途半端じゃない？せめて「連載1年目やっほーい」とk s、ね。

ひ：忘れてたらしいよ、てきとーだねえ。

ね：まあ公認の「ゆるゆるページ」だもんね。

でも、僕この1年半で教会に行くようになったよ！

ひ：おっ、それはいいことだねえ！

ね：でもね、日曜のミサのときにふりふりの白い布？

被ってるマダムたちが気になるんだよねえ。

ひ：ふりふりの白い布？ベールのことかな？こんなのでしょ？（右上）

ね：そうそう！あれってどういう意味があるかなあ？

ひ：そういうと思ったZE☆今回の「ちょっと気になりました 調べてみたのですが」のテーマは「実は知らないベールの謎」です！

ね：おー！

ひ：ベールはね、女性が洗礼を受けた後、神父さまに「白い衣を受けなさい。」と言われて代母から被されるものなんだ。

ね：へえ！でもなんで、そんな習慣が生まれたの？

ひ：初代教会の時代には、洗礼を受けた後、罪がゆるされ、神の子となったということも、目に見える形で示すものとして、「白衣（びやくえ）」に着替えていたんだ。

それがいつしか、「白い布」すなわち「ベール」になったそうだよ。

ね：そんなことがあったのかあ。でも、女性だけベールを被るのはなんでだろう？

ひ：よく理由はないけれど、僕は二つの理由を聞いたことがあるよ。

ね：気になる！なんでなんで？

ひ：一つは、女性は、髪の毛をきれいに飾り、華やかだったから、神の御前に出るときは、心の姿勢だけではなく、頭につけた飾りもベールをかぶって慎み深くするため。

ね：確かに女の人は髪の毛をきれいにしてるもんねえ。

ひ：もう一つは、ミサの最中に女性の顔が見えないようにするため。キレイな人が教会に来ていたり、自分の隣に座っていたりしたら男性諸君はミサどころじゃないからね！

ね：確かに。僕もミサのとき、かわいい子がいるなあと思ったらスタッフのゆーたちゃんだったもん（照）

ひ：こんな感じで、キリスト教はまだまだ僕らの知らないベールに隠されたことがあるんだねえ！

ね：そうだね！今回もちょっとだけためになったねえ～。



参考：「Laudate」[http://www.pauline.or.jp/chripedia/mame\\_veil.php](http://www.pauline.or.jp/chripedia/mame_veil.php)（2012年3月5日閲覧）

# ▶お知らせっ!!!!

## ♡ワカゲ♡ いよいよ2012年度もスタート:)

### ★フレッシュマンウィーク 2012年4月9日(月)~4月13日(金)

- ・キリスト教に興味があるよ!
- ・友達がほしいなあ!
- ・ワカゲは行ってみたいけれど、  
きっかけがなくて・・・

などなど思っている新入生、新社会人、進級生のみなさん! ぜひ遊びにいらしてください♪スタッフがささやかなお菓子を用意して待っています☆☆



### ★ワカゲ新歓パーティー♪ 4月13日(金) ミサ18時~ パーティー19時30分~

参加費: 300円(新入生、新社会人無料)  
新学期が始まったことを感謝し、みんなでミサをしたりご飯を食べたりしてお祝いしましょう♪♪はじめましての方もお久しぶりの方もぜひぜひいらしてください!  
みなさんのご参加待ってまーす:)

### ★11の日 4月11日(水) 19時~21時 テゼの祈り、分かち合い

ワカゲでは、毎月11日を東日本大震災のためのお祈り、分かち合いをする企画を用意しています。この震災を忘れないために、被災者の方々のためにお祈りし、今自分に何ができるのか分かち合いましょう。



## ♡東京教区♡

### はつど 2012年も行います♪

毎月最初の土曜日は、想いを、パンを、共に分かち合いましょう!

17:00~分かち合い 18:30~ミサ

4月のはつどは聖週間の為、お休みです。

5月は5月5日(祝・こどもの日)に行います。

皆様のご参加をお待ちしております(^)ノ



